

# 報 廣 ま っ だ い

昭和36年6月25日発行  
第 9 4 号  
東 野 城 郡 松 代 町 公 民 館  
館 長 富 沢 清 次  
電 話 松 代 1 番  
印 刷 松 代 印 刷 所

## 松代の水道事業

### 一、五八二万円で新潟企業に落札

四月下旬認可された松代の水道事業は六月十七日、株式会社植木組・新潟企業株式会社・久保田水道瓦斯工業株式会社・東亜濾水工業所・羽生田鉄工株式会社・井上工業株式会社・三井建設株式会社・新潟工業株式会社・八社を集めて行なわれ、一五八二万円で新潟企業株式会社に落札しました。

工事着工は七月上旬で完了は十月末日の予定で、おそくとも十一月中には供水出来ることになっていきます。

おり、前方の真向いには子供達が六年間の成長を託している学舎がそびえており、その下には松代の銀座を始め官庁街、商店街その他松代の全景が一望出来、遊びに疲れ、ぼろ緑陰を求めて山の清澄な空気を吸い乍ら休み春、夏、秋を問わず、五十余程の野鳥のさえずりを聞くことが出来るという、幼児期から児童期の子供さんの夢をはぐくむ場所としては絶好の環境と言えるところです。遊具も今年一年間にあれもこれもと揃えるわけにはゆかないでしょうが皆さんの協力で追い追いに揃えられるでしょう。

の不良化になる原因などを具体的に一つ／＼聞く者の胸に喰い込むが如く話された。これを聞いた幹部の方々が、最近とくにバイクや自動車が増え交通は益々繁雑を極めていくことに気づき子供達に「道路で遊ぶな」と言う前に何もわざわざいされることなく、伸び／＼と遊べる場所を作ってやるうじやないか、そうすれば交通事故からも守れるし健全な遊びで不良化も防げる一石二鳥だと、早速警察の宮島巡查同伴で幹部の方が役場を訪れたのが実現の第一歩でした。失礼な言い方で恐縮ですが、

## 遊園地誕生

皆んなの善意が実を結ぶ

限に等しい青葉をたゝえた林に包まれて空気はよく、隣りの谷は俗に言うガンザワで、どんなに日照りが続いても何百年来絶えることのない清水がこん／＼と湧き出て

少林寺（松代）の石段のわきにこの程、子供の遊び場が完成しました。幼児児童を問わず多数の子供さんが遊びに行かれることを希望します。約百六五平方米（五十坪）位の広さで、湿地だったところに新しい土を盛り砂を敷いて排水もよくなりました。周囲は無

次に完成までの経緯を簡単に述べて誕生記としたいと思います。某新聞紙上で佐渡の或る婦人学級が公民館や診療所を作り、実生活と四つに組んで男衆も顔負けの成果を上げていたという記事を読んで、これは大したものだと目を見張ったものでした。ところがこの記事を見て間もなく、松代の御婦人方が児童遊園地を作る運動を起しているということを耳にした。そもそもこの運動のきっかけを作ったのは、去る五月の婦人学級で安塚の警察署長の来町を求めて交通法規の説明と少年不良化防止について話を聞いたのがきっかけで、署長は交通事故や少年



## 昭和35年度 婦人学級(講座)実績

昭和35年度の婦人学級並びに講座の実績を部落別にまとめてみました。( )内の数は婦人学級学習を表します。

なお昭和36年度は22学級の開設届があり、峠婦人学級は文部省委嘱の学級に認められ4万円の国の補助金があります。

字	名	学習回数	学習時数	出席延数
松代	代	(14)	(49)	(690)
		5	16	288
小太	荒戸	(7)	(22)	(190)
		2	6	34
菅刈	丸	(8)	(28)	(179)
		13	37	248
小池	屋之	4	9	82
		4	21	78
池会	沢	6	21	184
		4	6	155
清蓬	海	4	8	157
		4	8	(475)
犬孟	滝	(15)	(54)	228
		7	18	1,017
中	島	20	38	167
		8	31	105
平貫	平	3	9	60
		6	19	220
池生	明	6	14	499
		19	61	357
島野	所	21	79	95
		5	7	34
良	立	4	15	417
		8	22	495
奈室	竹	10	24	609
		17	63	(229)
野	所	(11)	(40)	91
		4	11	(428)
濁	峠	(6)	(25)	(523)
		(15)	(52)	(234)
和	原	(11)	(37)	(395)
		(10)	(36)	(384)
木	峠	(12)	(51)	(142)
		(7)	(19)	
計		296	948	9,475

昨年から開かれていた松代の婦人学級に淡い疑問のようなものを持っていた。眠いの夜集って勉強される精神は誠に尊いのですけれども果してこの人達の勉強がどれだけ実生活に直結し、どれだけ日常生活に生かされているだろうかというものでした。ところが遊園地作りの話を聞いたとたん、私の疑問は霞の晴れる如く消え去ってしまいました。松代の人はとかく引

込み思案だと評されて居ましたが良いと知って直ぐ実行に移されたこの精神こそ何にもかえ難い婦人学級の収穫だと思えます。この実行力に対し、皆さんと共に万感の敬意を表したいと存じます。婦人学級がこれを手始めとして今後も実生活に即した勉強をされ益々発展されることを心から祈りたいと思えます。この遊園地作りに最も至難とされていた土地を快く提供

して下さりしかも積極的に物心両面から多大の応援をして下さいました少林寺様に対しましては皆さんと共に衷心より感謝の誠をさげたいと存じます。最後に土地の整備その他実際に遊園地を作るに当って御協力を頂戴いた相沢組を始め少林寺さん徒その他の方々に対し心から御礼を述べて遊園地の誕生記と致します。(Y・T記)

(写真は完成した遊園地)



(遊園木で遊ぶ子供達)

## 軌道にのった保育所

例年により、松代、室野保育所は六月一日から、今年は新たに千年部落も加わり六月三日に開設しました。特に松代地区は幼児数も多く一ヶ所ではせまいため婦人会からの要望もあって、十王堂と少林寺の二ヶ所に分けて開設しました。保育所は農繁期に足手間といなる幼児をあづかり過重な労働負担を幾分なりとも軽くすると共に放任され勝ちな子供を危険から守ることが大きな目的であります。保育所は只、幼児を集めて遊んでいる処ではなく、音楽遊戯、童話紙芝居、千代紙折り等を教え、ブランコすべり台、鉄棒などの運動

を加味した遊具に親しませ知らず知らずのうちに運動神経の発達をうながすと共に自由な遊びの中にも時間に対する規則正しい習慣と集団生活を身につけさせる様にしています。子供は、ものごとにあきやすく特に長い一日指導や世話する保母の苦勞は並たいていでもなく、出来得れば遊具を少しでも多く備えていたがたいものと思っております。服装については派手になり農家の子供は行けない等の御批判も受けました。最初は今しかにその傾向もありました。最初は年ほそういうことは見受けられず幼児が大勢で砂遊びに夢中になつて喜んでいる様子を皆さんから見ていただければなあとと思うことがあります。保育所のことにつきまして参考意見が御座居ましたら御指摘下さいまして今後の運営に一層の御協力を御願いたします。

# 探鳥会終る

## 瀬高県副会長を招いて

去る五月二十七、八両日にわたり松代愛鳥クラブ主催とし後援松代町公民館と役場産業課の御協力にて探鳥会を開催した。尚講師に日本野鳥会委員新潟県野鳥会副会長瀬高友栄先生(加茂市)をお招きして講演と御指導をしていただきました。先生の第一声は、探鳥の目的は自然と環境に伴なう野鳥の実体とその実質的価値を確めることによつて重要性が明らかになるのだといわれております。こゝに一例を御参考までに記しますとドイツの戦前の話ですが、科学の近代化につれ害虫駆除の目的で一勢に薬物消毒した。成程効果は確かに最上であつた。ところが天然を誇っていた珍鳥や有益鳥のほとんどが全滅に近い程になつた。因ではこれは困つたといふことで外国から野鳥を輸入して野鳥保護にとめたといふことです。このよゝに多数の費用と労力を掛けて害虫を撲滅しなくとも野鳥は驚く程虫の数を喰つております。「ツバメ」は毎分四十〜五十匹の虫を獲

るといふ記録があります。「キツツキ」でも一日約二〇〇〜三五〇匹の虫を喰つております。このよゝに野鳥は私達の知らぬ間に害虫を退治しているといふことは皆さんも承知であり目の見えない大きな働きをしております。お金もかゝらぬ人手も要しない極く手近かな害虫駆除法と言わなければなりません。次に野鳥の住みよい森林を造る事によつて新しい国造りに努力を望みたいことです。それには森林にしたい場所はなるべく小木や雑草をあまり刈取らぬこと。野鳥は小さい枯枝や雑草の枯葉及杉皮などで巢を造るのであるから充分此の点に思いやりが必要だと思います。どうか御認識あられる皆さんに野鳥繁殖のため御協力方を御願ひします。

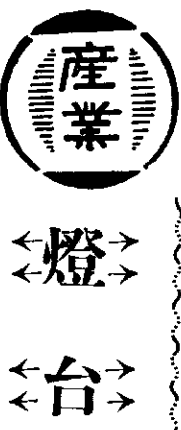
### 探鳥会確認野鳥名

アオバヅク、ゴイサギ、ホトトギス、ヒクイナ、バン、ヨタカ、ノジコ、ホオジロ、ハンボソカラス、ヒヨドリ、ウグイス、カヅコウ、ツバメ、スズメ、キビタキ、サンショウクイ、カケス、ツツドリ、ヤマガラ、チゴモズ、ムクドリ、

クロツグミ、キジバト、アカゲラ、オオルリ、センダイムシ、メボソ、セキレイ、シジュウカラ、オオゲシ、コケリ、シジュウカラ、オオゲシ、シキリ、ニクウチヨウ、オオゲシ、ラ、コカワラヒワ、エナガ、ヤブサメ、アオサギ、ヒガラ、イソギ、サメ、アマドリ、メジロ、キジ、ブサメ、ビタキ、セグロセキレイ、ブ



(双眼鏡で姿をたしかめる会員達 蒲生地内)



春の農繁期も終り、牛の手入れをするにふさわしい季節となりました。今年の牛の相場は、皆さんの努力の賜にて上昇しております。即ち五月の市場の様子は出場頭数十七頭で約一五〇日位の牛が十頭ありまして平均四万七千五百円でした。この内、牝が五頭で四万五千円、牡又は去勢が五頭で四万円の平均価格でした。この様に牝牝の差が少なくなりました。これは肉用素牛の数が不足しておるわけでありまして牝でも精々管理を良くして良質の牛に育成される事が望まれております。

最近仔牛の牝牛に授精するのが増加して大変結構な事と思ひますがまだ分娩後の管理と研究不足の為発情が来なかつたり見つけられなかつたりして授精出来ない状態の牛が居ります。良い発情を誘起させ早く受胎させる事が生産を高め畜産経営の秘訣であります。これから相当の暑さになりますので牛舎も夏向にし、牛を暑苦しくさせないよう、又牛舎の改善、整備は今のうちにして下さい。サイロのある人は良質のサイレーシを作るよう材料に依り適期に詰込みをして下さい。長い冬期間の飼料としての乾草は今うちに手配して用意して下さい。又多汁質飼料としてのサイレーシ、根葉類等の計画も今うちに用意して来るべき冬に備えて下さい。

松代町の畜産も大部増大して参りまして松代農協に今春、国有貸付牛二十頭を達平に導入したのに続いて只今又導入計画に基いて申込み受付中です。又奈川農協は去る六月十一日に四頭導入いたしました。又山平農協は来月始め頃数十頭導入し組合員の畜産経営を大規模に推進する計画であります。これらの結果、さきに行われまして牛のトリコモナス病検査は四百六十六頭が受検し昨年に較べ四〇%の増加であり又豚のコレラの予防注射に於いては二百七十七頭で昨年に較べ百四〇%の増加でありました。これらのように全般的な動きは大変高度に進みましたので各人の努力次第にて今後優劣の差が開いて来るものと思われまします。一層一段の努力と研究をお願い致します。(小林)

町内小中学校教員、学級 児童生徒数

学 校 名	教 員 数			学級数	児 童 生 徒 数		
	男	女	計		男	女	計
松全小	10	6	16	11	213	227	440
全分小	2	1	3	3	53	42	95
全分小	2	1	3	3	34	41	75
全分小	2	1	3	3	22	23	45
全分小	1	2	3	3	18	14	32
全分小	1	1	2	2	5	7	12
全分小	4	2	6	6	77	55	132
全分小	6	3	9	6	97	83	180
全分小	2	1	3	3	28	29	57
全分小	1	1	2	2	12	9	21
全分小	4	2	6	3	49	39	88
全分小	2	1	3	3	46	32	78
全分小	2	1	3	3	31	33	64
全分小	5	4	9	5	80	63	143
全分小	2	1	3	3	56	35	91
全分小	2	1	3	3	45	47	92
全分小	5	4	9	7	130	123	253
全分小	5	2	7	6	82	96	178
校計	56	35	91	73	1,078	993	2,076
松全中	13	1	14	9	190	176	366
全分中	3	1	4	3	71	61	132
全分中	5	1	6	2	21	31	52
全分中	8	2	10	6	131	132	263
全分中	8	2	10	6	129	128	257
校計	37	7	44	26	542	528	1,070
合 計	93	42	135	99	1,620	1,526	3,146

青年学級

青年学級を開設しよう

この町の青年学級は昭和二十八年以来、法律による国の補助条件を備えた学級のみを開設してきたが、全町の青年教育振興のためまえから次のとおり条件を備えた学級の開設を認可することになりました。各部落又は隣接部落で話し合いして学級を開設して下さい。

- 一、従来開設していた学級従来通り計画して開設して下さい。
- 二、新規に開設する学級
  - ① 学級生は十五人以上で固定していること。
  - ② 学習実数は年間五〇時間以上であること
  - ③ 主事一名・講師二名を母校又は地域の学識経験者をお願い

記

青年学級  
 ※蓬平青  
 ※清水水  
 ※清田田  
 ※寺儀伊  
 ※儀伊伊  
 ※伊青野  
 ※青室部  
 ※室南蒲  
 ※蒲生交  
 ※交金未  
 ※事務局  
 ※事務局計

9 学級開設  
 382,124円  
 1 学級平均  
 (42,447円)  
 16,012円  
 1,864円  
 400,000円

三、其の他  
 開設についての詳細は各青年会長に文書で通知済みです  
 又教育委員会に照合のこと  
 ◎昭和三十五年度開設学級名と町予算交付額はこんな状況です

文芸

柳喜佐子

- こゝよりは細道も降りになりにけり外丸炭釜谷底に見ゆ
- 谷川の流れば澄みて居りし故磨かれいたる石の美しさが欲し
- 母性愛強く求めし少年の未知なる便りにまぶたぬらしつ
- 室野しづみ会 紫水
- 荒土をもたげたる芽は大豆の芽 恒久
- 大杉をめぐりて蝶を見失なう 悠歩
- 戸を開けて夏の宵なる寺院かな 芳朗
- 眠る子を負いて蛙の夜道来し 厚樵
- 一畑にいもかんらんと並べ植え 勝利
- 蝶々の笠にとまりぬ昼の月 枯水
- 山羊の乳たれ太り居り緑こし 六花
- 目にいたき程の明るさ新樹風

春山他石先生招へい

俳句大會

期日 六月二十五日(日)  
 会場 室野 ヤマヘイ旅館  
 日程 午前十時～十二時吟行  
 正午～一時 会食  
 一時三十分～五時 俳句大会・俳話  
 講師 みゆき主幹春山他石先生  
 兼題 吟行囁日  
 席題 当日発表  
 表彰 高点者各五位春山他石先生短冊贈呈  
 会費 二五〇円(参加料と会食費・俳句大会のみの場合は参加料五〇円)  
 申込 六月十五日までに室野局区内しづみ句会  
 主催 しづみ俳句会 古島六花  
 後援 室野青年会 松代町公民館 室野しづみ句会  
 右により上越唯一の俳誌「みゆき」主幹春山他石先生招へい俳句大会を開催致します。多数御参加下さいますよう御案内致します  
 室野 しづみ俳句会